

のは絶対に排撃し日本國民的な團結に依り大衆の人格生活の向上に邁進せねばならぬ

總同盟九州聯合會長 伊藤卯四郎

荒廢たる中に無條件に何の犠牲もなく從來の行き懸りを捨て敢然合同され單一組合を結成されたことは吾が労働界の劃期的事業であり又二つの重大性を持つものである。その一つは官民合同は十月一日より實施され一ヶ月遅れて見るであらうが、法案通過の時には民間の参加は困難と見られたが、只今嬉んで参加する状態であると聞くが滿鐵に次ぐ大資本の日本製鐵株式會社に合同する十一の會社中組合を有するもの四つ残り組合を嫌つて居るものであり、三井、三菱に於ては組合の出来ることを嫌つて居る、此等が参加する以上團體を造ることに迫害

を加へる事は豫期し得るが合同前に一丸となつて組合を結成したる後には壓迫を加へる事は斷然出来ないのである。今一つは種々なる動向を見ると政黨が労働者の中に食ひ入らねばならぬ様になつた事である、政黨的に労働者の組合を造らんと計劃して居る、八幡で政黨的組合を造るならば五つ位組合が出来ると、これは労働者に取つて善くないことは勿論である、従業員諸君は明白なる考を以てこれ以前に政黨を超越して組合を結成されたことに敬意を表する、從來の組合運動は言論に強く實行に弱かつた、そこに組合の破綻があつたのである。

労働組合は二つを行ひ一を叫び職場の中での要求を組合が達成させる處に確實なる組合の使命がある、現在四十萬を以て組織する日本労働組合會議は合法的且つ確實を